

設計書

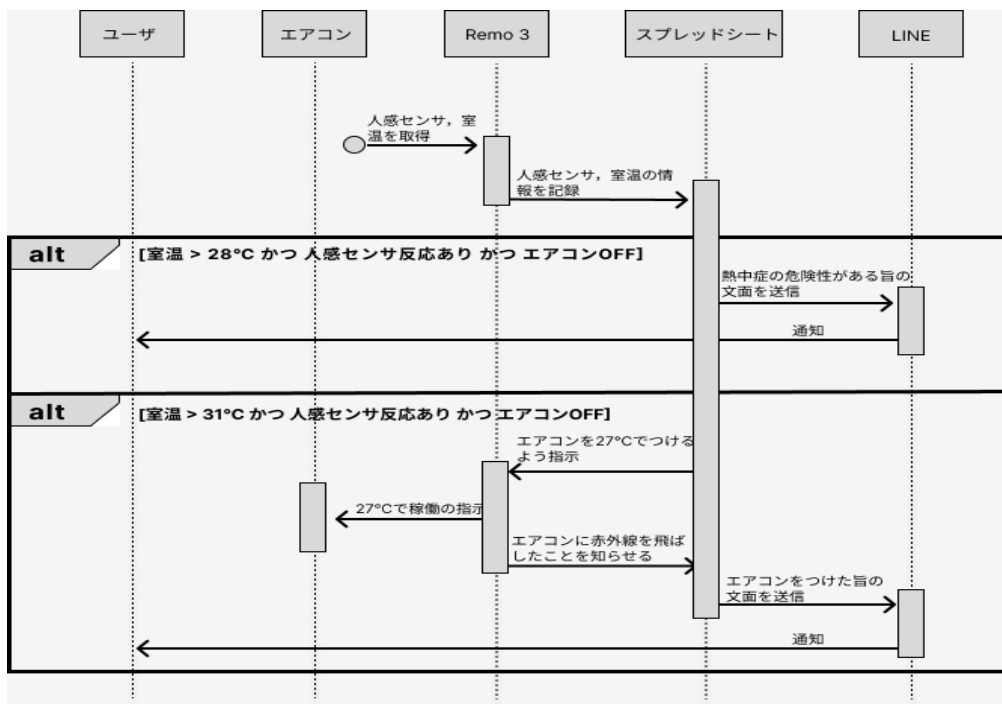
設計内容の概要

- Remo 3 を用いて温度センサ、人感センサからデータを 5 分おきに取得し、スプレッドシートに記録する.
- 状況を 2 段階に分けて考え、以下のように Remo 3, エアコン, LINE を操作する.
 - 室温が 28°C 以上かつ、人感センサに反応があり、エアコンが稼働していない場合、LINE bot を使い、熱中症の警告の通知を送信する.
 - 室温が 31°C 以上かつ、人感センサに反応があり、エアコンが稼働していない場合、エアコンを 27°C で稼働させ、そのことを LINE bot を使い通知を送信する.

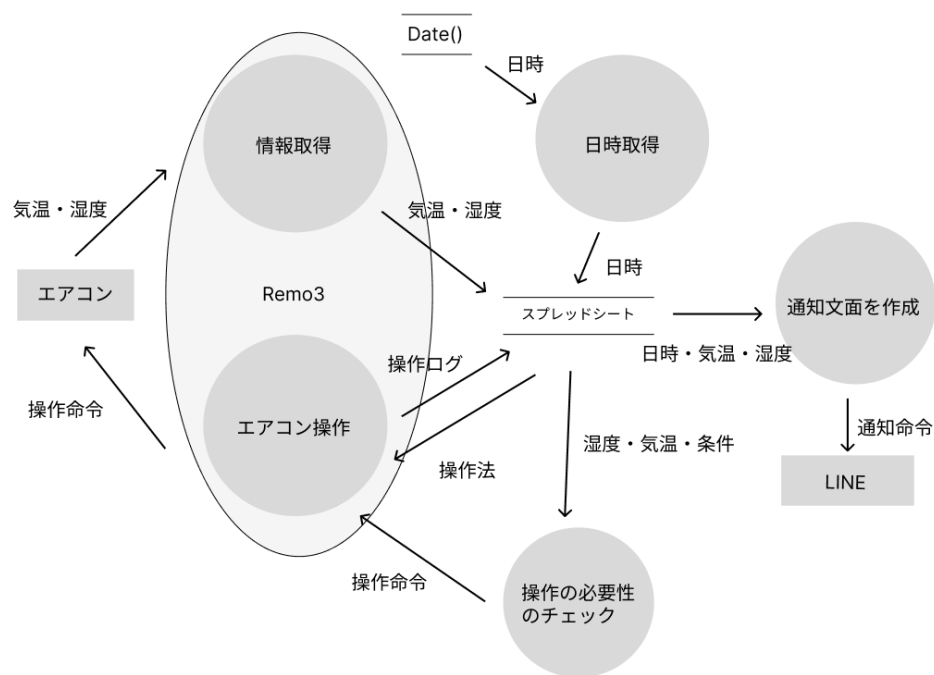
システム処理の流れ

システム処理の流れを簡易的にモデル化したものを下に示す。

シーケンス図



データフロー図



必要なモジュール (.gs ファイル)

- スプレッドシート管理用プログラム
- Remo3 からのデータ取得用プログラム
- センサデータ管理用プログラム(室内の温度、人感センサ)
- エアコン操作用プログラム(室内の温度, 人感センサに応じて操作)
- LINE 通知用プログラム(熱中症の危険性があること, エアコンをつけたことを知らせる)